



報道関係者各位

2022年4月7日(木)
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

**体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育。」2021年度(2021年4月～2022年3月)集計
通常(対面)版・オンライン授業版の合計で12,488人が体験
～2010年から累計175,662人が体験～**

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会(以下、JBFA)は、小・中・高校生を対象とした体験型授業「スポ育」の2021年度(2021年4月～2022年3月)分の集計を終え、昨年4月から今年3月までに、333件、12,488人が参加したことをご報告します。2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、2020年より提供を開始したオンライン授業版や感染防止対策を徹底した通常(対面)版授業の提供をし、実施件数は前年より増加しました。また、2022年6月～8月実施分の申込受付を、4月11日(月)12:00からスポ育ホームページで開始いたします。

「スポ育」は、パラリンピック競技であるブラインドサッカーの要素を用いた、体験型ダイバーシティ(多様性)教育プログラムです。内容は講演会や通常の体験会とは異なり、1件あたり90分を基本とし、子どもたち全員が視覚に障がいのあるブラインドサッカー選手と触れ合いながら、視覚をアイマスクで閉じた状態でさまざまなワークを行います。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け通常プログラムを提供することが難しい時期もありましたが、引き続き子どもたちに障がい者への理解促進や、コミュニケーションの重要性、チームワークの大切さ等の学びを提供できるか検討を重ね、非接触型のオンライン授業版の開発をし、2021年度は通常版とオンライン授業版の両方をニーズに応じて提供しました^{※1}。



2020年度からの取り組みとなっているオンライン授業版にも多くの子どもたちに参加いただき、実施先からは通常版と同じように、障がい者、他者への理解を深める事ができた、友だちとのコミュニケーションの重要性を再認識する事ができた、等の評価をいただいております。新型コロナウイルス感染拡大対応のために考案されたオンライン授業版ですが、文部科学省が進めるGIGAスクール構想^{※2}によってオンライン授業に対応できる学校も増え、今まで実施エリア外だった地域の子どもたちにもダイバーシティの学びを提供できるという利点もあり、今後も積極的に提供を継続したいと考えております。

※1 本リリースに掲載の写真は新型コロナウイルス感染症拡大前に実施のスポ育授業の物となります。

※2 児童生徒1人1台の学習用端末やクラウド活用を踏まえたネットワーク環境の整備を行い、個別に最適化された教育の実現を目指す政府主導の事業

コロナの影響を受けた2年間でしたが、事業を開始した2010年9月から累計で17万人を超える子どもたちに体験していただきました。また、2015年秋からは、約20万人が取得している民間資格「サービス介助士」を育成・認定している公益財団法人日本ケアフィット共育機構と事業提携し、「おも活」(おもいやり活動の略)も実施しています。「おも活」とは、学習指導要領にも述べられている、心のバリアフリーに欠かすことのできない、“障害の社会モデル”の考えを学ぶ授業です。2021年からは新プログラムとなり、身近な生活から社会の困りごとについて考え、「環境が作り出す困りごと」と「相手の立場」、という両面から気づき、考え、行動する好循環を促しています。社会が作り出している障害と、それを解消するためにはどうすればいいのかを、人の多様性を知りながら自ら考え気づく、そしてお手伝いが必要であればお声がけをして、おもいやりの気持ちを行動に移す。自分たちにもできることがあると知ること

で、子どもたちの自主性を促す内容で、スポ育実施校向けに、2021年度は10件実施いたしました。

「スポ育」は、スポ育パートナー企業のサポートにより原則無料で実施しています。2021年度（2021年4月～2022年3月）の「スポ育」活動実績、過去実施件数および体験者数の推移は本文最後に記載しております。

JBFAでは、一人でも多くの子どもたちにスポ育プログラムを提供できるよう、パートナー企業様と共にこれからも真摯にこの活動に取り組んでまいります。

●体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育」申込概要

内容：体験型ダイバーシティ教育プログラム（事前学習、体験学習、事後学習）

実施地域：

通常版

関東エリア：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

関西エリア：大阪府大阪市内、兵庫県神戸市とその周辺

オンライン授業版

全国

対象：小学校4年生～高校3年生までの学校またはスポーツ団体 ※小学3年生は9月から実施可能

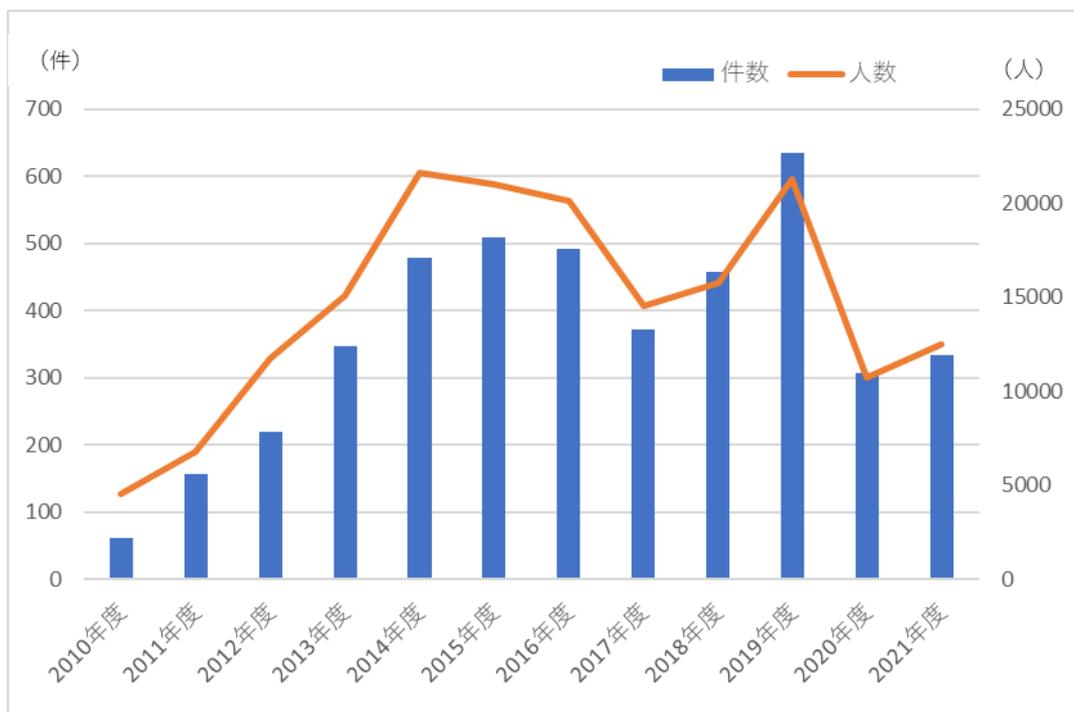
<その他詳細とお申し込み>

・ <https://supoiku.b-soccer.jp/>

【ご注意】6月～8月のお申込み受付開始は、4月11日（月）12時～となります。

<スポ育実施件数および体験者数の推移>

期間	年度	件数	人数
2010年9月～2011年3月	2010年度	61	4509
2011年4月～2012年3月	2011年度	157	6782
2012年4月～2013年3月	2012年度	220	11754
2013年4月～2014年3月	2013年度	347	15081
2014年4月～2015年3月	2014年度	479	21617
2015年4月～2016年3月	2015年度	508	21008
2016年4月～2017年3月	2016年度	491	20130
2017年4月～2018年3月	2017年度	371	14549
2018年4月～2019年3月	2018年度	458	15736
2019年4月～2020年3月	2019年度	634	21272
2020年4月～2021年3月	2020年度	307	10736
2021年4月～2022年3月	2021年度	333	12488
累計		4366	175662



2021年度の「スポ育」活動実績

<月別>

年	単位 月	コマ 件数	人 受講人数	
2021年	4月	3	99	
	5月	4	98	
	6月	31	1,061	
	7月	29	992	
	8月	0	0	
	9月	26	987	
	10月	36	1,223	
	11月	37	1,701	
	12月	48	1,974	
	2022年	1月	40	1,503
		2月	46	1,711
		3月	33	1,139
総計		333	12,488	

<学年別>

単位 学年	人 受講人数
小学3年生	551
小学4年生	5,046
小学5年生	1,296
小学6年生	1,371
中学1年生	716
中学2年生	2,577
中学3年生	618
高校1年生	130
高校2年生	14
高校3年生	127
特別支援学級	42
総計	12,488

<コンテンツ別>

	単位 件数	人 受講人数
プログラム		
スポ育・通常版	262	8,335
スポ育・オンライン授業型	71	4,153
総計	333	12,488

<地域別>

	単位	コマ	人
都道府県	市区町村	件数	受講人数
東京都	葛飾区	31	1018
	江戸川区	3	191
	港区	9	302
	昭島市	4	119
	新宿区	36	1043
	杉並区	2	68
	西東京市	3	216
	青梅市	2	54
	千代田区	16	641
	中央区	2	57
	中野区	4	126
	町田市	3	204
	調布市	6	298
	東村山市	4	124
	八王子市	6	224
	品川区	43	1714
	府中市	7	312
	文京区	36	1303
	練馬区	4	128
神奈川県	横浜市	34	1230
	三浦市	6	196
	藤沢市	1	101
	川崎市	1	107
埼玉県	さいたま市	4	240
	羽生市	1	15
	上尾市	1	80
	新座市	1	40
千葉県	印西市	5	129
	市川市	1	27
	船橋市	2	45
	木更津市	3	90
茨城県	守谷市	4	99

	単位	コマ	人
都道府県	市区町村	件数	受講人数
石川県	金沢市	8	257
静岡県	静岡市	1	87
大阪府	大阪市	20	704
	富田林市	1	120
兵庫県	神戸市	7	224
	川西市	3	100
	淡路市	1	14
滋賀県	守山市	3	301
和歌山県	和歌山市	1	45
福岡県	久留米市	3	95
総計		333	12,488

本件に関するお問い合わせ

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 広報室
 E-mail: media@b-soccer.jp 協会ウェブサイト : <https://www.b-soccer.jp>
 住所 : 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 ペアーズビル 3 階